

授業科目 オセアニア文化研究	単位 2 単位
授業担当者 林 勲男	授業期間 前期
授業の題目と概要 自然災害と対峙する社会と文化	
授業の内容と計画 人間の生活を成り立たせる自然環境は、ときに大きな脅威となって社会や文化に対しての影響力を持つ。オセアニア地域では、地震や津波、火山噴火、熱帯低気圧などが自然災害の要因と考えられてきたが、近年の地球温暖化や気候変動はこれまで予期しなかった新たな脅威となりつつある。そうした自然界からの影響力への、社会や文化の対応の仕方について、人類学的視点から研究することの意義について、具体的な事例をもって検討したい。授業は講義と文献購読から構成される。	
使用する参考書、参考論文等 Bankoff, G. et al (eds), <i>Mapping Vulnerability: Disasters, Development & People</i> . Earthscan (2004) Collins, A. E., <i>Disaster and Development</i> . Routledge (2009) Climo, J. J. and M. G. Cattell(eds), <i>Social Memory and History: Anthropological Perspectives</i> . Altamira Press (2002)	
成績評価基準 出席と議論への参加に基づいて評価する。	
その他の留意事項	

